

ダイバージェント (2014)

DIVERGENT

メディア 映画

ジャンル SF アクション アドベンチャー

製作国 アメリカ

色彩 Color

時間 139分

初公開日 2014/07/11

公開情報 KADOKAWA

映倫 G

【キャッチコピー】

たった一度の 性格診断で 未来は決まる

【解説】

全米で大ベストセラーとなった新人作家ベロニカ・ロスのティーン向けディストピアSF3部作の第1弾『ダイバージェント 異端者』を、「ファミリー・ツリー」のシェイリーン・ウッドリー主演で映画化した近未来SFアクション大作。16歳で5つの共同体のいずれかに強制的に選別される近未来を舞台に、そのいずれにも該当しない異端者＝ダイバージェントと診断されたヒロインを待ち受ける過酷な運命を描く。共演はテオ・ジェームズ、ケイト・ウィンスレット、レイ・スティーヴンソン。監督は「幻影師アイゼンハイム」「リミットレス」のニール・バーガー。

近未来。人類は最終戦争の教訓を糧に、国家や宗教という概念を捨て、新たな社会体制を築き上げていた。それは、人類を性格ごとに“勇敢”、“高潔”、“平和”、“無欲”、“博学”という5つの共同体に振り分け、それぞれが与えられた役割を担うことで社会を支えるという仕組みになっていた。人々は16歳になると“選択の儀式”と呼ばれる性格診断テストを受け、診断結果が示した共同体への所属を義務づけられる。そして、その5つに該当しないと診断された者は異端者＝ダイバージェントと呼ばれ、危険分子として秘密裏に抹殺される運命にあった。そんな中、“無欲”出身のベアトリスは選択の儀式を迎えるが、結果は非情にも異端者と診断されてしまう。しかし彼女を不憫に思った検査官トリーの計らいで判定は改ざんされ、“勇敢”へと加入できることに。こうして彼女は名前もトリスと改名し、異端者であることをひた隠し、軍事・警察機能を担う“勇敢”で、過酷な戦闘訓練に身を投じていくのだったが…。

【クレジット】

監督	ニール・バーガー	Neil Burger
製作	ダグラス・ウィック	Douglas Wick
	ルーシー・フィッシャー	Lucy Fisher
	プーヤ・シャーバジアン	Pouya Shahbazian
製作総指揮	ジョン・J・ケリー	John J. Kelly
	レイチェル・シェーン	Rachel Shane
原作	ベロニカ・ロス	
脚本	エヴァン・ドーハティ	Evan Daugherty
	ヴァネッサ・テイラー	Vanessa Taylor

『ダイバー
ジェント
異端者』
(角川書
店刊)

撮影	アルヴィン・クーフラー	Alwin Küchler	
プロダクションデザイン	アンディ・ニコルソン	Andy Nicholson	
衣装デザイン	カルロ・ポッジョーリ	Carlo Poggioli	
編集	リチャード・フランシス=ブルース ナンシー・リチャードソン	Richard Francis-Bruce Nancy Richardson	
音楽	ジャンキー・XL	Junkie XL	
音楽監修	ランドール・ポスター	Randall Poster	
エグゼクティブ音楽プロデューサー	ハンス・ジマー	Hans Zimmer	
出演	シェイリーン・ウッドリー	Shailene Woodley	トリス／ベアトリス
	テオ・ジェームズ	Theo James	フォー
	アシュレイ・ジャッド	Ashley Judd	ナタリー
	ジェイ・コートニー	Jai Courtney	エリック
	レイ・スティーヴンソン	Ray Stevenson	マーカス
	ゾーイ・クラヴィッツ	Zoe Kravitz	クリスティーナ
	マイルズ・テラー	Miles Teller	ピーター
	トニー・ゴールドウィン	Tony Goldwyn	アンドリュー
	アンセル・エルゴート	Ansel Elgort	ケイレブ
	マギー・Q	Maggie Q	トーリ
	メキー・ファイファー	Mekhi Phifer	マックス
	ケイト・ウィンスレット	Kate Winslet	ジェニーン
	ロティミ	Rotimi	
	クリスチャン・マドセン	Christian Madsen	
	ベン・ラム	Ben Lamb	